



しだれ栗

両小野小学校だより

令和4年1月7日

第11号



令和4年が始まりました。
みなさま、どうぞ本年もよろしくお願いいたします



コロナ禍ではありますが、二度とない「今」を大切に、両小野の子どもたちの健やかな成長のために、保護者のみなさま、地域のみなさまとともに精一杯取り組んでいきたいと思っております。本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

両小野小学校職員一同

地域のみなさんとともに



12月は「しだれ栗10号」ではお伝えできないほど、地域のみなさんとの交流がありました。

5年生は、わらを使ったおやす作りや餅米の販売を行いました。ボランティアさんに教えていただきながら、一生懸命に作った餅米を「こころ組」になぞらえて『^{しん}心米』と名付け、学校ので保護者のみなさんや地域のみなさんに販売し、喜んでいただきました。

2年生は、ボランティアさんと一緒に育てた「大豆」を使って、ボランティアさんに教えていただき『きなこ』を作りました。2月には『とうふ作り』に挑戦する予定です。

1、2年生と6年生の交流焼きいも会で使わせていただいた薪は、毎年木エクラブのご指導に来てくださる矢島さんからいただいたものです。

3年生、4年生は、ボランティアの小野征成さんに、歴史ある小野宿を案内していただきました。

このように、地域の中で、地域に学び、育つ 両小野小の子どもたちです。

感謝 ありがとう



「きりとう」さんから、入所者のみなさんが、心を込めて縫ってくださった、たくさんの雑巾をいただきました。柔らかく、使いやすいそうです。清掃活動で使わせていただきます。

コロナが収まり、気兼ねなく交流できる日が早く訪れますように…。



小野区長さんのご厚意で、駒沢川の河川工事に伴う、施工業者の金子庭園土木さんの地域貢献事業として、両小野小学校に立派な「門松」をいただきました。二学期終業式の日に関に合わせてくださり、子どもたちも門松に見送られて冬休みを迎えました。また、この門松は、旭地区のどんど焼きで燃やしていただくことになっています。旭地区のみなさまにも大変お世話になります。